

創大スポーツ 3年連続シード権獲得

2022年(令和4年)1月3日(月)

第98回箱根駅伝号外

発行：創価大学企画広報課
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 TEL042-691-9442

獅子奮迅!! ストライプインパクト

1区 大手町～鶴見 21.3km



葛西 潤
文学部3年 愛知県出身 関西創価高校

1時間02分21秒 区間順位 15位

この1年間、怪我で走れなかった時期もありましたが、1年次から希望していた1区を任せてもらい、走れる感謝を持ってスタートしました。15km付近で先頭集団についていくことが辛くなり、最後は少しでもタイム差を減らせるようにと、仲間顔を思い浮かべながら走り抜きました。ラスト5kmは足が思うように動かなくなり、来年に向けて一から脚作りをします。来年こそは応援してくださる皆さんの期待に応える走りを行います。

総合7位
往路8位 復路6位

1月28日に東京・大手町読売新聞社前をスタートした第98回東京箱根間往復大学駅伝競走において、創価大学駅伝部は「駅伝戦国時代」と言われた今回、序盤から接戦の展開となったが最後に自力を發揮、総合7位でゴールした。往路では鳴津選手が4区区間賞を獲得し、往路8位となった。復路は積極的なレースを展開、3年連続のシード権を獲得した。大学三大駅伝でストライプのユニフォームが先頭でゴールを切る日は近い。

10区 鶴見～大手町 23.0km



松田 爽汰
文学部3年 滋賀県出身 滋賀学園高校

1時間09分27秒 区間順位 5位

10区は後半勝負と聞いていたので、前半は周囲を気にせず自分のリズムで走りました。後半は、他大学の選手のペースが落ちたような感覚でした。強い向かい風のなかでも前に向かって攻めの走り続けました。今回の10人の中では一番力がないと思っており、走る前はプレッシャーもありましたが、自分の頑張り次第でチームの順位が上がるとの思いで楽しみながら走れました。



【選手写真提供：「@KGRR」】

笑顔でゴールする松田爽汰選手

2区 鶴見～戸塚 23.1km



フリップ・ムルワ
経済学部3年 ケニア出身 マチナイイス高校

1時間06分41秒 区間順位 2位

1区のペースがとても速く、次々に走り出す他大学の強豪選手を目の当たりにし、緊張が高まる中で襷を受け取りました。順位を上げて3区の桑田選手に襷を渡そうと、無我夢中で前を走る選手を追いかけました。昨年は初めての箱根の舞台で思うように走れませんでした。その反省を活かした登り坂の練習も活き、区間2位という自分でも驚きの走りができました。今日の走りは自分でも褒めてあげたいです。

9区 戸塚～鶴見 23.1km



中武 泰希
経営学部4年 神奈川県出身 向上高校

1時間10分47秒 区間順位 16位

最初で最後の箱根駅伝を4年間の集大成として、チームで育んできた想いを胸にのせて走りました。前半は余裕を持って走りましたが、権太坂の登りでペースが落ち、その後リズムを整えることに苦しみました。レース中、「お前が一番練習してきたから、自信に変えて頑張りな」と監督が声をかけてくれました。最後は1秒でも速く、10区の松田選手に襷を渡せるように走り抜きました。

3区 戸塚～平塚 21.4km



桑田 大輔
文学部2年 鳥取県出身 八頭高校

1時間04分02秒 区間順位 17位

初めての箱根駅伝で大事な3区を任せられ、粘りの走りでも4区の鳴津選手に襷を繋ごうと思いましたが、目標タイムよりも遅く、悔しい走りとなりました。7kmくらいで後続選手に抜かされた際、他大学の選手のスピードについていけず、力不足を痛感しました。最後は少しでも良い位置で襷を繋ごうと最後まで諦めずに走りました。この悔しさをバネに来年以降、チームの掲げる目標達成に向けて練習に励んでいきます。

8区 平塚～戸塚 21.4km



吉田 凌
経済学部1年 福岡県出身 学法石川高校

1時間05分46秒 区間順位 8位

6区、7区と良い流れで襷を繋いでくれ、緊張もありましたが、箱根駅伝という大舞台で喜びを持って走り出しました。遊行寺の坂で苦しくなりましたが、応援してくださる方々への感謝を力に変え、他大学の選手に抜かれた時も粘りの走りができました。チーム目標である総合3位が見える位置で襷を繋げ、最低限の役割は果たせたと感じます。この経験を活かし、長距離やアップダウンに対応できる力を身につけていきます。

4区 平塚～小田原 20.9km



鳴津 雄大
文学部4年 東京都出身 若葉総合高校

1時間01分08秒 区間順位 1位

目標としていた1時間1分に迫り、過去の自分を超越する走りができました。特に、駒澤大の選手が見えた時は昨年の悔しさが蘇り、リベンジとの思いで気合がより一層入りました。目の病を患っていることもあり、自分の走りでも多くの人に勇気を届けたいと思っており、区間賞という結果でチームに貢献できたことが、とても嬉しいです。苦しい状況もありましたが、たくさんの応援が力となって、魂の走りができました。

5区 小田原～箱根 20.8km



三上 雄太
文学部4年 広島県出身 遊学館高校

1時間13分32秒 区間順位 12位

他大学の選手について走ろうと思いましたが、スピードが遅く、予定よりもオーバーペースになったことで前半に体力を使い、登り始めてから苦しい状況が続きました。前回とは異なる追いかけられる立場のレースに、序盤は自分らしい走りができず、弱さを感じました。辛い中でも、今回走れなかった同期の存在が力となり、12km付近で自分のペースを組み立て直し、最後の箱根駅伝を楽しみながら走り抜けました。

6区 箱根～小田原 20.8km



濱野 将基
法学部3年 神奈川県出身 佐久長聖高校

59分04秒 区間順位 9位

「やるしかない」との思いで走り出しました。初めの登りが遅くなってしまい悔いが残る走りではありましたが、その後、下りと平坦で流れを作ることができ、最低限の走りができたと思います。昨年とは違った単独走で自分の実力を実感し、本当にきつい状況が続いたのですが、7区で苦業を共にした同期の新家選手が「よくやった」と声をかけてくれ、とても嬉しかったです。来年はもっと攻めの走りができるよう練習に励んでいきます。

7区 小田原～平塚 21.3km



新家 裕太郎
経営学部3年 大阪府出身 大阪高校

1時間03分42秒 区間順位 4位

濱野選手が笑顔で襷を繋いでくれ、安心してスタートを切れました。3km地点で東京国際大の選手に追いつき、9km付近で一度距離を離されましたが、他大学の選手を抜く度に前の選手の背中が見え、どんどん足が前に進みました。前半は突っ込むペースで走り、後半も得意の坂道でスタートを掛け、思った以上の結果を残せて良かったです。初の箱根駅伝で走る楽しさを感じました。来年は優勝争いができるように頑張ります。

第98回箱根駅伝総合順位

- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 1位 | 青山学院大学 | 10時間 43分 42秒 |
| 2位 | 順天堂大学 | 10時間 54分 33秒 |
| 3位 | 駒澤大学 | 10時間 54分 57秒 |
| 4位 | 東洋大学 | 10時間 54分 59秒 |
| 5位 | 東京国際大学 | 10時間 55分 14秒 |
| 6位 | 中央大学 | 10時間 55分 44秒 |
| 7位 | 創価大学 | 10時間 56分 30秒 |
| 8位 | 國學院大学 | 10時間 57分 10秒 |
| 9位 | 帝京大学 | 10時間 58分 06秒 |
| 10位 | 法政大学 | 10時間 58分 46秒 |

(以上シード権獲得)

- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 11位 | 東海大学 | 10時間 59分 38秒 |
| 12位 | 神奈川大学 | 11時間 00分 00秒 |
| 13位 | 早稲田大学 | 11時間 00分 03秒 |
| 14位 | 明治大学 | 11時間 00分 28秒 |
| 15位 | 国士舘大学 | 11時間 03分 06秒 |
| 16位 | 中央学院大学 | 11時間 07分 33秒 |
| 17位 | 日本体育大学 | 11時間 11分 11秒 |
| 18位 | 山梨学院大学 | 11時間 11分 21秒 |
| 19位 | 駿河台大学 | 11時間 13分 42秒 |
| 20位 | 専修大学 | 11時間 15分 09秒 |
| OP | 関東学生連合 | 11時間 00分 25秒 |

歓喜の往路優勝、総合7位で一気に強豪校の仲間入りを果たしてから一年、戦国駅伝といわれた通り今年は序盤から各校順位の変動が大きい大会となった。近年レースの流れを大きく左右するという1区の勝負所で創価大は15位のスタートとなった。全日本大学駅伝で出場を逃したが、初出場となった出雲駅伝では7位となり、3区で先頭を走った勢いに箱根への期待が膨らんだ。この記録会では各選手が自己記録の更新が続き、全体がレベルアップされた。榎本監督は「昨年より選手層は確実に厚くなった。獅子奮迅の精神で衝撃と感動を与える存在にな

れれば」と自信をのぞかせた。往路は1、3区で苦戦を強いられましたが、2、4区では区間2、1位で巻き返した。最終5区は強風と寒さの影響もあり、8区という順位となった。巻き返しを期しての復路。6区で流れを作り、7、8区で一気に4位まで押し上げ意地をみせる。しかし勝負所の9区で順位を下げたがシード権をかけた10区へ。シード権確保に突き進む順位を上げ最終成績は総合7位でゴール。目標には及ばなかったが要所要所で実力校の片鱗をみせた。多くの経験者が残る来年こそ大輪を咲かせてほしい。今年も多くの感動をありがとう。

全員でつかんだ総合7位

負けじ魂でシード権



瀬上雄然総監督

前回大会同様、コロナ禍で一部制限がある中で開催された箱根駅伝を無事に走り抜くことができました。出陣の心より感謝申し上げます。出陣の激しいレース展開ではありましたが、選手一人ひとりが負けじ魂を奮発し、シード権を確保できました。来年こそは目標を達成します。



嶋津区間賞



上位争いができる強いチームへ



榎木和貴監督

皆さんの応援をありがとありがとうございました。今年、目標としていた3位には惜しくも届きませんでした。結果を残すことが出来た。往路8位と若干出遅れたところもありましたが、この1年間掲げてきた「強さ」を、

勝負の復路、トップ選手から5分38秒差で6区濱野将基がスタート。昨年の経験を活かして最高速の4メートルから一気に駆け抜け、前を追う。9区宮下下もなかなか前との差は詰まらない。前の選手が見えない単独走となったがペースを守り8位を奪取。前の東国大との差を詰めて7区新家裕太郎に引き継ぐ。走るからには区間賞を狙いたいと言っていた新家、ついに11分過ぎの二宮付近で國學院大、東国大を捕らえて6位に上げ、最後は強烈なスタートで5位まで順位を押し上げた。そして笑顔で吉田凌へ襷を渡す。1年生吉田は7区の勢いそのままに茅ヶ崎6.7分付近で4位帝京大を捕らえて9.5分付近では東国大と並走。15.9分遊行寺坂では中央大、東国大と3校での並走に戸塚中継所に5位で飛び込む。9区は中武泰希、4年生として最初で最後の箱根をスタート。序盤は3校で拮抗していたが7分付近でグループから後退。10分付近では駒澤大に抜かれるも必死に食らいつづきシード権を目指す各校も必死に迫ってくる。まさに戦国駅伝だ。苦しい走りになったが前を向いて走る。9位に順位を下げたが、持ち前の粘りで中継所で待った松田泰汰へ思いを繋ぐ。そしていよいよシードをかけた最終10区、一旦10位に並ばれた松田は落ち着いて対応、そしてキンを入れ直しスピードアップ。中盤で東海大を捕らえてさらに國學院大も抜き去り7位に浮上。そのまま大手町のゴールに飛び込んだ。



往路にゴールする三上雄太選手

「戦国駅伝」との予想通り、順位が目まぐるしく変わる苦しい展開となった。1区を任せられた慶西大は序盤、集団を見る形で好位置をキープ、中盤は積極的に順位を上げていく。しかし15分過ぎに箱根大に抜かれ、一気に下がったペースに追いつけず徐々に遅れて15位で2区フィリップ・ムルワに託す。秋から調子上げていたムルワはスタートからぐんぐんペースを上げて次々と前を捕らえていく。ハイペースの勢いは後半になっても衰えず9人をこぼす。区間2位の記録で6位に順位を押し上げて3区桑田大輔に襷を渡す。桑田は緊張からスタートからなかなかペースが上がらず藤沢付近で10位まで順位を下げるが懸命の走り粘りつづけて11位。昨年同4区でトップに立った嶋津雄大に託す。嶋津は襷を受けて一気に加速、8分付近8位、11分まで6位まで順位を押し上げる。その後も安定した走りでも8.8分付近では4位に迫る区間賞の快走で主将三上雄太の待つ5区へ。序盤は帝京大、駒澤大と並走していた三上だが徐々に遅れ始めて宮下下では8位に後退、小瀬園前でもペースは上がらずなんとか8位をキープしながら前を追う苦しい展開となった。しかし前との差は詰まらず3つ順位を落とし8位でゴール。往路は15分6秒11秒11秒8秒と順位変動が大きく、結果往路8位となった。復路は、総合7位を目指して挑むことになった。

国内外からの声援を力に疾走

頑張った選手たちを褒めてあげたいです。ここからまた来春向け、走れなかった選手にも含め全員で上位争いできる強いチームを目指します。そして、今回の結果は日頃から支えてくださった皆様のおかげです。応援ありがとうございました。



【写真提供：駅伝部】

2区ムルワも区間2位の激走

応援ありがとうございました



勇気や感動を届ける走り



三上雄太主将

「ストライプインパクト」とのテーマを掲げ、衝撃を与えられる走り、皆さんに勇気や感動を届けたという思いで走りました。少しでも感じてもらえたら嬉しいです。テレビの前から皆さんの応援、本心からのご声援ありがとうございました。今後も創価大学駅伝部をよろしくお願います。

【選手写真提供：「©KGR」】

選手の粘り強い走りに感動



田代康則理事長

また、選手を陰で支えた控えの選手、スタッフの皆様も本当にお疲れ様でした。目標の総合3位には残念ながら届きませんでした。3年連続シード権獲得という新たな歴史を築いてくれた。テレビ・ラジオ等で卒業生をはじめ、全国、全世界の応援をくださった皆様、本当にありがとうございました。

シード権獲得は見事な結果



馬場善久学長

どうもありがとうございます。戦国駅伝の予想通りに激しく順位が移変わる緊迫のレースの中、選手皆さんの執念の走りに感動しました。また、2日間サポートにあられた駅伝部、関係者の皆様、大変にお疲れ様でした。多くの感動を本心からありがとうございました。全国、全世界で応援していただいた皆様、心より感謝申し上げます。